

西公民館だより

メール: nishi-kouminkan @city.fukuyama.hiroshima.jp

2020年12月25日
発行 西公民館
福山市西町1丁目19-2
Tel 925-0442

◆コロナ禍中、西学区内まちづくり活動記録◆

■9月から12月までの間、西公民館が西学区内まちづくり活動を支援した記録の一端です。

月日	行事 (団体名)	参加数	内容 (テーマ・講師名)
9/15	いきいきサロン(福祉を高める会)	23人	『お口の健康とフレイル』市健康推進課
9/26	いきいきサロン(福祉を高める会)	21人	『正しく分別してますか』日和眞志さん
10/ 1	西小3年生総合学習(西小学校)	54人	『昔の遊び体験』地域ボランティア 20人
10/ 4	交通安全教室(安全部会)	70人	『通学路の危険箇所を皆で歩く』
10/ 9	城北中1年生社会見学(城北中学校)	6人	『西公民館の目的と活動』を学ぶ
10/24	バス旅行(西老連)	27人	『松江城堀川めぐりと松江ホーゲルパーク』
10/25	歴史講座(総務部会)	57人	『佐波・神島地区の歴史』西村直城さん
10/27	グラウンドゴルフ大会(西老連)	24人	優勝 男性:井上誠さん 女性:河相澄恵さん
10/29	防災講演会(西学区自主防災)	40人	『避難所運営について』 福山市危機管理防災課・福祉総務課
10/30	防災倉庫増築(西学区自主防災)	1棟	防災倉庫の隣に増設
10/31	ココロパーク(公民館社会教育活動)	60人	『小学生のさつまいもの収穫』西迫佳広さん
11/ 1	佐波&神島ウォーキング(健康づくり)	65人	『歴史現地学習』西村直城さん
11/ 2	西公民館職員消火訓練(西公民館)	利用者 20人	施設利用者と消火訓練をしました
11/14	ココロパーク(公民館社会教育活動)	16人	『クリスマスツリーの簡単な工作』
11/22	西学区防災訓練(西学区自主防災)	延べ 564人	各町内会『避難訓練』497人 西学区『避難所設営訓練』67人
12/ 5	ココロパーク(公民館社会教育活動)	35人	『クリスマス会マジック・絵本・人形劇』 どんぐり文庫のみなさん
〃	お話とコンサート (本庄コミュニティ&西公民館合同事業)	28人	『ネット社会と人権~インターネットをめぐる人権問題』LIVES(平田さん・谷本さん)
12/10	はざくらの会定例会(はざくらの会)	35人	リコーダーとピアノのミニクリスマスコンサート
12/12	善行市民賞受賞(福山市)	2人	パラ賞:森元俊廣さん・せんだん賞:伊達利幸さん
12/17	西分団防災拠点施設《消防器具庫》 改築完成 (防災拠点施設改築委員会)	1棟	学区内寄付金と市補助金により完成しました
12/27	門松づくり(文化部会) 予定		西公民館の玄関に一对

●西公民館の年末年始の休館日 12月29日(火)~1月3日(日)
新年は穏やかな年でありますように!

◆西小3年生「総合学習の時間」◆

10月1日(木)西小体育館で3年生を対象に「昔の遊び体験」がありました。地域の人たち20人がゲストティーチャーとして参加しました。児童は12種目の昔の遊びに5人ずつ分かれ20分間3種類の遊びをゲストティーチャーから学びました。この行事は「昔からの遊びを調べ体験する事、地域の文化を知る事、昔の人々の知恵や工夫を学ぶ事、昔の遊びの楽しさを味わう事、それを生かして意欲的に生きる力をつける事」でした。



【かかしのケンパ】



【ゲストティーチャー】

●秋の松江ぐるり旅情●

10月24日(土)西学区老人クラブ連合会一行27人は2年に一度のバス旅行にでかけました。まず、松江城の堀川遊覧では歌の上手な船頭さんにお城の案内をしてもらいました。次は国内最大規模の温室、松江フォーゲルパークで、数千種類の満開の洋花を鑑賞しました。ここで『天ぷらそば御膳』を昼食にして、一同皆至極ご満悦でした。帰りは三次ワイナリーでお土産をいっぱい買って帰りました。



【堀川めぐり船頭】



【松江フォーゲルパーク】

◎いきいきサロン「歴史講座」◎

10月25日(日)西公民館で『佐波・神島地区の歴史』を、みよし風土記の丘ミュージアム学芸課長西村直城さんから講義を受けました。時代は古代から、地域は山手・津之郷・赤坂に及ぶ広範囲の地理から始まり、時代ごとの中央政権との関係や地域の豪族の支配体制などを、『万葉集』『吉備古簡集』『備陽六郡志』の出拠を上げながら講義して頂きました。お陰で参加者は大学生の様に真剣に聴講させていただきました。



▲第36回グラウンドゴルフ大会▲

10月27日(火)西学区ふれあいGG場(芦田川)で西学区老連24人参加してグラウンドゴルフ大会が開かれました。成績は下記の通り、皆さん和気あいあいの中で自然の空気を満喫しました。

●成績

女性	優勝	河相澄恵	佐波白寿会	66打
	準優勝	井上邦江	佐波白寿会	67打
	第3位	村岡富貴子	神島長寿会	69打
男性	優勝	井上 誠	西桜銀嶺クラブ	56打
	準優勝	小林邦弘	西町協和会	57打
	第3位	吉山幸男	西桜銀嶺クラブ	59打

ホールインワン賞も男女合わせて7本出ました。

■さつまいも畑で収穫体験■

10月31日(土)西公民館の農園で、子ども60人がさつまいもの収穫体験をしました。西迫佳広さんからいもほりの仕方を聞いて、親子兄弟で優しく土を掘りながらお芋を取り出しました。毎年5月に苗を植えて10月に収穫します。今年は紅あずまで、きっとおいしいと西迫さんは言われていました。



▼どんぐり文庫のクリスマス会▼

12月5日(土)に、「コロコロパークのクリスマス会」を開きました。「どんぐり文庫」の皆さんが大型絵本・マジックショー・人形劇をして下さいました。初めに「きよしこの夜」をウクレレとギターの伴奏に合わせて子ども達がマラカスで歌いました。35人限定集会も楽しく過ごし、プレゼントを頂いて帰りました。



【人形劇「おまえはうまそうだな」】



●コロナ感染拡大中, 防災訓練を実施! ●

■11月22日(日)西学区自主防災協議会主催による「西学区防災訓練」が開かれました。今年は3月から新型コロナウイルス感染が流行していますが, 災害は突然やって来るので, 予定通り行いました。

◆まず, 各町内会では「地震」を想定して「避難訓練」をしました。朝9時に「避難勧告」が福山市から発令されたとみなして, 各家庭で身の安全を保つための「シェークアウト」をしました。揺れがおさまれば被害の状況を確認し電気やガスの元栓を切り, 外の様子を見て, 安全な場所(一時避難場所)に避難しました。17町内会避難者数は497人でした。

◆各町内会の「避難訓練」を終えて, 10時30分から西小学校体育館で『避難所運営訓練』を行いました。西学区自主防役員が集合し①避難所危険点検を済ませて②入口やトイレにコロナ対策の周知文を掲載し消毒が必要な所を確認しました。③役員が会場設営を終えて④入口で避難者マスク確認・手指消毒・検温を済ませて風通しの良い体育館の中へ⑤案内所で「健康チェックシート(避難者カード)」に記入, 町内会単位で集合待機しました。お互いに接近しないように距離を保つ様をお願いしました。



【神島町内会(会長:穂垣誠さん)の避難訓練, 西神島公園に110人避難しました】

消毒
検温



受付では
健康
チェック



◆11時の開会式で近藤会長挨拶, 森島福祉総務課長補佐挨拶, 塚本情報班長避難者数報告, 事務局防災資器材展示品紹介と続き, 講演に移りました。福祉総務課古川次長より「避難所長期運営について」お話を頂きました。特に新型コロナウイルス感染拡大の真只中での避難所の運営の問題を話されました。その話を受けて, 避難所での段ボールベッドの作り方とワンタッチ間仕切りテントの使い方を市職員10人の指導により4ブロックに分かれて行いました。参加者は67人でした。



【「避難所運営訓練」に参加した西学区自主防役員の皆さん】

【段ボールベッド組み立て方の指導】



【間仕切りテントとベッド】



【徳山副会長閉会挨拶】



本庄コミュニティセンター・西公民館 12月5日(土)合同事業開催(報告)

■ 人・まち・未来づくり～西学区～をテーマに「人権文化が根付いた地域社会の実現への取り組み」を西学区から発信し、誰もが幸せに暮らすためにどうすればよいか考えるきっかけをつくる目的として毎年合同事業を開催されました。◆「ネット社会と人権」～インターネットをめぐる人権問題～をテーマにLIVESさんをお招きして、コンサート形式で歌とお話で講演していただきました。私たちの知らない、気が付かないところで人権を脅かされている事例やいろいろな人権問題にふれて話されました。お話の間にアコースティックギターとベースで5曲弾き語り、歌詞の内容に心を揺さぶられました。歌にのせて講師の強い思いが伝わってきて、人を思いやる大切さや私たちに出来ることは何かを考えさせられる講座でした。



♡公民館に電子ピアノがプレゼントされました！♡

9月上旬に久松台の《笛吹童子さま》匿名よりヤマハ電子ピアノを西公民館へご寄贈して頂きました。このピアノ「クラビノーバ」は、世界中のピアノを愛する人たちのさまざまな想いに応える素晴らしいピアノです。

《笛吹童子さま》は「音楽は心の救いと生きる力を与えてくれます。西学区の皆様がお一人でも多く音楽をこよなく愛して頂ければ幸いです」と、ピアノに込めたお言葉も頂きました。ありがとうございました。



【ご寄贈の Clavinova(クラビノーバ)CVP401】

編集後記 今から52年前、高校3年の春でした。「市民会館でベートーベンの『第九』の合唱があるから君も歌わないか」と、音楽の林忠敬先生からお誘いを受けました。半年間ピアノで猛特訓。お陰で大阪フィルの後ろで大合唱団に混じってドイツのシラーの詩「歓喜の歌」を歌いました◆この度、笛吹童子さまからピアノを頂いた時、突然『第九』が脳裏に蘇りました。青春期の真只中で、生きる希望を失っていた自分に道を開いてくれたのがこの曲でした◆今年は艱難辛苦の年。せめて年末は“歓喜の歌”でお互いを称え、心から拍手を送り合い、新年への希望の想いを共にして行きましょう。(西公民館長記)